



## ○ 実習後

2年生が幼稚園の教育実習から帰ってきました。みんな一回り頼もしくなったように見えます。28日からは反省会などを行いました。その原稿の中から抜粋して紹介します。

実習で学んだことは、子どもたちが自分で最後までやれる意欲が出せるようなことばがけをするということです。また、自由遊びのあと、自分の片付けができた子どもが友達のところへ行き積極的に手伝っていました。私は保育者となったときにはそのような子どもを育てたいと思いました。



学んだことが二つあります。一つ目は年長・年中などの発達の違いです。年長では小学校の準備としてプリントの配り方を学んでいました。一回声かけをしただけで自分から行動していました。二つ目は保育園と幼稚園の違いです。足と腰を強くするために裸足保育をされていて、いいことだなと思いました。



子どもへの声かけでは、具体的なことを伝えるのではなく、子どもが自分で考えて行動できるよう工夫されていました。また危ないときは注意することもあるけれど、行動が一番や姿勢がよいときには皆の前でほめていらっしやいました。今回は全員とかかわることを目標にして取り組み、それができたので今後も意識していきたいです。



子どもたちのまとめ方や時間配分を考えながら、臨機応変に対応していくことなどのことを学びました。今後の実習では子どもたちに振り向いてもらえるよう声かけや対応の仕方を身につけておきたいです。また、一人ひとりを見るときにもっと視野を広くもつことなどの準備をしておきたいです。



## 自校自賛

ペットボトルで風車を作ってみました。保育専門学校らしいモニュメントはできないだろうかということで試してみました。モニュメントとまではいきませんが、校地内に動きとカラフルさが出せたかなと思っています。作物(キュウリ・トマトなど)にカラスがこないという現象も起こっているようです。今後もまた、いろいろな“工作”をしてみようと思います。



2色が混ざるように作っていますが、じっと見つめすぎると目が回ります。